

平成 24 年度 第 1 回 (4 月) 理事会 議事録

- ◇ 日 時： 平成 24 年 4 月 12 日 (木) 午後 18 時 30 分～20 時 45 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、井戸田、出野、宮野、酒井、栗本、清水、増田、山西、杉山、山田、久保田、栗本監事、事務員 (出口)
- ◇ 欠席者： 後藤、山中幹事
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告 (3 月分)

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 3 月 24 日に代議員会議と平成 23 年度第 2 回定期総会、日臨技連盟会議が開催された。
- ・ 代議員会議…平成 23 年度事業概要報告と決算概要報告があった。
今井前会長、運天会長、竹浦副会長、吉本副会長が参加した。
日臨技は 4 月 1 日から一般社団法人に移行した。移行後に公益認定の取得を目指すとの報告があった。大阪 (運天) からの代議員制度と内部留保金残高についての質問に対し、次の回答があった。廃止になった代議員会議に代わる会議を今後検討する。23 年度決算概要報告の運営基盤強化特別会計において、特定資産の取り崩し額が約 2 億円計上されているが、現在の内部留保金の残高については後日報告する。
- ・ 定期総会…出席者数と委任状数の合計が過半数に満たなかったため、流会となった。
全会員数 50,199 名中 出席者 131 名、委任状数 19,868 票
参加していた会員より流会になった責任について高田会長に詰問があった。
- ・ 連盟会議…日臨技の連絡責任者会議に運天会長が参加した。
会費収入 1,936,000 円で、活動費は前期繰越を合算すると 23,020,000 円ある。
大阪から提案したチーム医療の推進による職域拡大を連盟の今年度事業に取り入れることになった。

2. 近臨技

- ・ 4 月 14 日 (土) 近臨技会議を開催予定している。

3. 事務局

〈総務部〉3 月 21 日 (水) に部会を開催した。

- ・ 会員受付システムについて検討した。
- ・ 大臨技総会について検討した。
- ・ 大臨技会員証について検討した。2 月締めで 3 月中に約 2,050 枚発送した。
- ・ 賛助会員への対応について検討した。
- ・ 大臨技発行物の送付先について検討した。
- ・ 大臨技ニュース 3 月号を発行した。

- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉3月21日（水）に部会を開催した。

- ・ 2月度収支決算書を作成した。
- ・ 3月分事務員給料を送金した。

〈渉外部〉3月20日（火）に部会を開催した。

- ・ 子宮がん検診啓発活動（4月14日（土）14時～17時）について検討した。
- ・ 日臨技公益委託事業について検討した。
- ・ 定期総会について検討した。
- ・ 来年度の事業について検討した。

4. 事業局

〈情報組織部〉3月15日（木）に部会を開催した。

- ・ 多職種合同研修会についての内容を検討し、本年度はテーマを「口腔ケアに関連するチーム医療」に決定した。
- ・ 第28回技師長会の反省を行い、次回の検討材料とした。
- ・ 新入会員研修会について担当を決め、今後のスケジュールを確認した。

〈地区事業部〉3月17日（土）に部会を開催した。

- ・ 来年度事業について話し合った。
- ・ 施設連絡者会の参加人数は71名（正会員64名、正会員以外7名）であった。

〈学部部〉3月6日（火）に部会を開催した。

- ・ 3月10日（土）に、第6回学部部講演会を開催した。参加者80名超。
- ・ 会員区分について検討した。

Ⅲ. 他、報告

1. 平成24年度大臨技運営について（運天会長）

1) 所信表明

- 1.代表理事として定款に掲げている当会の目的（会員の学術技能研鑽を進め、会員の資質向上につなげ、府民の健康保持増進に寄与する。）を遂行する。
- 2.会員への情報提供を更に密にしていく。ホームページ、ニュースに理事会での決定事項を理事会情報として記載して行く。
- 3.平成24年度中に公益法人に移行する。
- 4.日臨技と都道府県技師会が一体化して、日臨技の目的である会員の身分の確立、職域拡大に協力する。

2) 役員体制

平成24・25年度 大臨技役員を担当一覧表を作成、公表した。

2. 大臨技OBとの意見交換会について（吉本副会長）

5月24日（木）定期総会終了後に新旧役員交流会として開催する。参加人数は約35名の予定。

3. その他

- 1) 大臨技事業の参加費の取決めについて、他職種対象事業における参加費の広報に関し、変更事項の説明があった。（吉本副会長）
- 2) 日臨技の「生涯教育推進研修会助成金について」（別紙参照）の説明があり、登録・申請等の対

応について検討した。(吉本副会長)

- ・日臨技推進事業の申請登録 (JAMTIS 上) については、學術部に一任する。
 - ・4月から携帯端末が使用不可となっていることについて、早急に確認する。
- 3) 4月14日(土) 14:00~17:00 LOVE49 関連事業(別紙資料)を実施する。(清水理事)
- 4) 7月7日(土) 大阪府放射線技師会が開催する女性に関するがん検診についての府民公開講座に子宮がん検診の担当講師として清水恵子氏を推薦する。(清水理事)

IV. 議 題

1. 平成24年度第1回定期総会(平成23年度決算総会)について(吉本副会長)
- スケジュール案に沿って説明があった。
- ・日時: 5月24日(木) 19時~20時30分
 - ・会場: 社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所
 - ・議長選出: 第1議長 夏秋 知佳氏(自宅会員)
第2議長 伊東 千絵氏(小阪産病院)
 - ・資格審査委員兼議事運営委員任命:
高田常務理事(委員長)、荒木常務理事
会員3名は渉外部より選出…1人は津田 喜裕氏(大阪府立中河内救命救急センター)、あと2人は後日 選出する。
 - ・議案審議: 1) 第1号議案 平成23年度各部事業報告に関する件
2) 第2号議案 平成23年度決算に関する件
会計監査報告
3) 第3号議案 その他
2. 東大阪市衛生検査所精度管理委員の推薦について(運天会長)
- 大阪医科大学附属病院の池本 敏行氏を推薦することに決まった。
3. 日臨技関西支部学術協力委員の選出について(運天会長)
- 高田常務理事を学術協力委員に推薦することとした。
4. 救急検査技師認定制度委員会から広報・後援の依頼について(運天会長)
- 久保田理事より文書に沿って説明があった。
- 昨年、日本臨床救急医学会より要請があり、準備委員会を立ち上げ救急検査技師の認定制度に向けて動いている状態。指定講習会・認定試験等の広報および後援の協力をお願いしたいとのこと。研修会等の広報、後援は協力するが新たな認定制度立ち上げについては、日臨技認定部会や日本臨床検査医学会、日本臨床検査同学院との兼ね合いがあるので回答は保留とした。
5. 緊急検査部会および内視鏡検査部会について(運天会長)
- 標記部会等について、下記の通り組織編制した。
- ・緊急検査部会…學術部に位置づける
 - ・内視鏡検査部会…チーム医療部門に位置づける
 - ・データ標準化専門部会…理事会直下のプロジェクトに位置づける
6. 「近畿心血管治療ジョイントライブ(KCJL)2012」の後援依頼について(運天会長)
- 当事業(開催日4月19日・20日)への後援依頼は吉本副会長に依頼書類等を監査してもらい、後援を承認した。

7. その他

- 1) 日臨技の会長候補選挙…宮島 喜文氏に決定した。(運天会長)
 - ・宮島 喜文氏…16,278 票
 - ・高田 欽也氏…5,963 票
- 2) 平成 24 年度日臨技関西支部医学検査学会 (第 52 回) について (吉本副会長)
 - ・日程：平成 24 年 9 月 29 日 (土) ～30 日 (日)
 - ・場所：和歌山県西牟婁郡白浜町
 - ・チラシが届いたので、大臨技ニュース 5 月号と同送する。
- 3) 大臨技会員受付システム概要について (別紙参照) (吉本副会長)
 1. 行事登録…JAMTIS での行事登録後に、「行事コード」発生。
 2. 行事当日の参加登録および参加情報の登録
日臨技会員と大臨技 (近臨技) のみの会員とで方法が異なる。
 - ・日臨技会員…日臨技会員証からバーコード読取による参加受付
手書きリストによる参加受付
 - ・大臨技会員…手書きリストによる参加受付
 3. 登録データの準備…JAMTIS の「生涯教育情報」より該当する行事の生涯教育情報をダウンロードする。
 4. 登録データの大臨技事務所への送信…ダウンロードした生涯教育情報と、手入力した Excel ファイルをメール添付により送信。
 5. 送信された登録データの処理…大臨技事務所で事務員が行う。
- 4) 後援依頼について (吉本副会長)

日本未病システム学会第 5 回近畿地方会 (8 月 4 日開催) より後援名義使用の依頼があり、承認された。
- 5) 理事会新役員全員の顔写真を撮影し、大臨技ニュース 6 月号に挨拶文とともに掲載することとした。

理事会議事録確認 (署名欄)
